

# 今日の日はさようなら 歌誕生ゆかりの地 調布

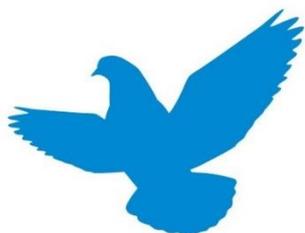
みなさんの協力でモニュメントが完成  
この歌を歌い継ぐ活動を続けていきます



モニュメント設置：2018年11月 調布市つつじヶ丘児童館

歌誕生ゆかりの地 調布で  
「今日の日はさようなら」を歌い継いでいきたい  
歌い継ぐ活動のシンボルとしてモニュメントをつくりたい  
みなさんに支えられたこれまでの活動記録です

2020年3月



今日の日はさようなら歌碑建立委員会  
親子で歌い継ぐ日本の歌百選を歌い伝え継ぐ会

# 今日の日はさようなら誕生秘話

「今日の日はさようなら」は、1966年に生まれました。調布で青少年活動をしていたボランティアグループの若者たちが、つどいの最後に「また会おう」の思いを込め作詞作曲した金子詔一さんのギター伴奏で声を合わせて歌った曲です。その後この歌は、全国に知られるようになり、「親子で歌い継ぐ日本の歌百選」に選ばれ、今も多くの人たちに愛唱されています。

(モニュメントのプレート記載文章より)

「今日の日はさようなら」の歌が生まれた「ハーモニィサークル」は、1960年代初め、警視庁職員だった大野重男さんが8年間勤めた少年課を辞め10数人の青年たちと東京都内に立ち上げました。初めは子ども会活動や養護施設訪問などが中心でしたが、その後大野さんは集団就職などで慣れない都会の生活に苦勞している若者たちの相談相手になろうと、調布市柴崎に一軒家を借りて新たなボランティア活動を始めました。

大野さん金子さんの呼びかけに、市内のおそば屋さんやクリーニング店などで働いていた若者たちが次々と集まり、やがて活動の拠点は一軒家になった大野さんの家からつつじヶ丘児童館に移りました。

調布で新たな一歩を踏み出した「ハーモニィサークル」は、その後子どもたちにキャンプ体験などを指導する地域ボランティアからポニーの乗馬体験を取り入れた野外活動で各地に組織を広げていくなど、ユニークな青少年教育団体へと大きく成長していきました。現在は公益財団法人ハーモニィセンターとなり、大野さんの活動を続けています。

「今日の日はさようなら」は、初めてのオリンピックが東京で開催され、日本が高度経済成長期へと向かう、そんな時代を支えてきた若者たちの輪の中から生まれました。



調布市つつじヶ丘児童館ホール

# 今日の日はさようなら歌碑建立委員会活動経緯



2014年7月27日  
今日の日はさようなら歌碑建立委員会  
発足式とゆかりの地を歩く会



2014年9月7日  
大野重男さんを囲む会  
歌誕生にまつわるお話を聞く



2014年10月4日  
中野のオフィスで金子詔一さんと面会



2014年10月11日  
ゆかりの地を歩く会  
元大野さん宅周辺



2015年10月4日  
霞ヶ浦総合公園  
赤とんぼのモニュメント見学



2017年7月17日  
親子で歌い継ぐ日本の歌百選を  
歌い伝え継ぐ会発足式



2018年2月6日  
モニュメント用に提供して  
いただいたけやきと初対面



2018年5月10日  
伐採済のけやき



2018年8月16日  
樹皮むき作業

# 今日の日はさようなら歌碑建立委員会活動経緯



2018年8月25日  
今日の日はさようなら  
柴崎駅列車接近メロディ開始



2018年9月16日  
モニュメント用樹木の  
文字彫刻作業



2018年11月8日  
樹木埋設



2018年11月17日  
モニュメント設置記念式典



2019年1月21日  
大野重男さんがモニュメントを視察



2019年2月21日～3月16日  
モニュメント完成記念活動報告  
パネル展示 於：調布市西部公民館



2019年3月16日  
安達元彦さんロビーコンサートにて  
今日の日はさようならを歌う  
於：調布市西部公民館

# 完成したモニュメント



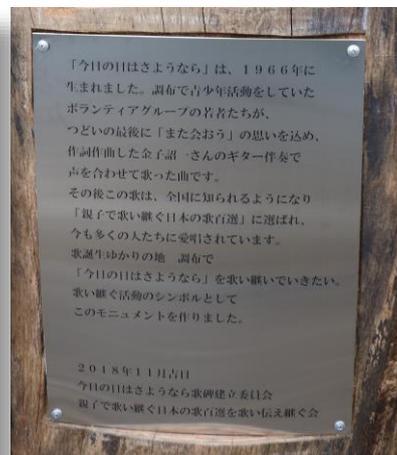
樹木はけやき（左2本）かしのき（右3本）  
調布市深大寺元町にて育まれたもの

文字：門傳良男書

モニュメント寸法  
高さ 約3.3m  
幅 約3.6m



設置場所 調布市つつじヶ丘児童館 調布市西つつじヶ丘3-19-1



モニュメントの樹木は、深大寺で造園業を営む方のご厚意で、ご提供いただきました。楽譜や経緯のプレート、鉄琴の部品などは、皆様からの協力金で製作しました。モニュメント建立にあたりご協力をいただいた多くの方々に、心から感謝いたします。

調布市のホームページでこのモニュメントが紹介されています。

<https://www.city.chofu.tokyo.jp/www/contents/1572237712669/index.html>

## 「今日の日はさようなら」調布に歌碑を

「いつまでも 絶えることなく 友だちでいよう」で始まる1960年代のフォークソング「今日の日はさようなら」。幅広い世代に親しまれるこの歌が調布市で生まれたのは、あまり知られていない。地元で歌碑を建てようという活動が始まっている。

歌は60年代半ば、調布市を中心に開かれていたボランテニアサークル「ハーモニィセンター」の活動から生まれた。

始めたのは大野重男さん(80)。警視庁で青少年の指導を担当していた大野さんは61(昭和36)年、目黒区でサークルの前身をつくった。仕事をやめて、63、64年ごろ、調布市に移り住んだ。

サークルの目的は、集団就職で上京し、商店などに住み込みで働く若者たちの交流だった。毎晩、都会で孤独に暮らす彼らは、大野さんの自宅や近くの市立つつじヶ丘児童館に集まった。人生を語り、歌を歌った。

「会の終わりに必ず歌を歌って別れた」。そう振り返

### ♪いつまでも 絶えることなく 伝えていこう

## 誕生の地 有志が募金活動

作詞・作曲した金子詔一さん(中野区)



るのは、「今日の日はさようなら」を作詞・作曲した金子詔一さん(72)と中野区。立教大生だった金子さんは大野さんに勉強を教えてもらった縁で、サークル活動に加わり、ギターで若者たちの歌を伴奏した。「別れるときのオリジナルソングがほしい」という声が出てきた。明るい別れの歌にしようと思った。

歌ができたのは64、65年。「学生運動が激しかったころ。フォークソングは、新宿西口でヘルメットをかぶって歌うものだった。それなのに『信じあう 喜びを 大切にしよう』なんて、ノンポリですいません、という感じだった」。金子さんはほかに「金子さんらはサークル活動で都内や全国各地に出かけ

た。参加者と歌ううちに歌は広まっていった。67年、デビュー直後の森山良子さんがシングルレコードのB面で歌った。反戦歌などで知られた米国のフォーク歌手、ジョン・パエズさんも来日コンサートで歌った。70年代、NHK「みんなのうた」で紹介され、卒業式やキャンプファイアの定番ソングに。2006年には文化庁主催「親子で歌いつこう 日本のお歌百選」に選ばれた。09年公開のアニメ映画「エヴァンゲリオン 新劇場版・破」(庵野秀明監督)の戦闘場面で使われたのは記憶に新しい。

「こんな有名な歌なのに、調布市で生まれたことを市民が知らないのは惜しい」



歌碑を建てるための募金を呼びかける門田良男さん

調布市で尺八教室を開く門田良男さん(69)らが今年、歌碑建立委員会をつくった。市制施行60周年の来年、つつじヶ丘児童館に建てるのを目標に募金活動をする。「将来は合唱祭を開きたい」

金子さんその後、青少年が海外体験を積む活動に携わり、現在は英会話教材を開発する。

大野さんは長年、公益財団法人ハーモニィセンター(渋谷区)の理事長を務め、ポニーと子どもたちがふれあう活動を続けた。現在は茨城県取手市に暮らす。「我々の活動を思い出ししてもらえて、とてもうれしい」と話す。

募金の問い合わせは歌碑建立委員会(042・486・4472)。(鬼頭恒成)

# 新聞で紹介されました

(第3種郵便物認可)

## 今日の日はさようなら

「いつまでも」の歌詞で始まり、キャンプファイアなどで広く歌われてきた「今日の日はさようなら」。半世紀前、調布市での若者たちの集いから生まれたことは、あまり知られていない。この名曲を未来に伝え続けたいと願う市民有志によって、歌碑を建てる活動も始まっている。

調布市など都内各地で若者たちの集いをしてきた青年ボランティアグループ「ハーモニイセンター」の活動記録紙(1970年11・12月号)は、66年に歌が誕生した経緯を、こう語っている。

「つづきの終りには、いつも『一日の終り』を歌っていたが、自分たちのオリジナルの歌でしめくくりたいという希望が出、それに応えて、金子詔一が『きょうの日はさようなら』を作詞・作曲。▽

立教大院生だった金子詔一(78)の「写真」が歌を思いついたのは、調布での集いから中野の自宅までの帰り道だった。

音楽一家に育ち、鼻歌で自作の歌を奏でては「すぐに忘れていた」が、そのときは翌朝も頭に残っていた。



## いつまでも…世代超え



①「今日の日はさようなら」を歌う調布市民ら(8月2日、調布市の児童館ホールで) ②調布市の児童館ホールでの活動中、記念撮影をする若者たち(1967年頃、大島健さん提供)



「みんなで歌い継ぐこのコンサートをこれからも続けたい。名残は惜しいですが、『また会う日まで』。門伝が、詞の最後を引用してあいさつを締めくくると、会場は拍手で包まれた。(敬称略、吉田拓矢)

## 調布で誕生「歌碑」活動も

「『作った人が生きているんですか』と言われるくらい僕は知られていなくても、皆さんの思い出とともに歌われている、というだけでいい」と語る。



「『作った人が生きているんですか』と言われるくらい僕は知られていなくても、皆さんの思い出とともに歌われている、というだけでいい」と語る。



「『作った人が生きているんですか』と言われるくらい僕は知られていなくても、皆さんの思い出とともに歌われている、というだけでいい」と語る。



「『作った人が生きているんですか』と言われるくらい僕は知られていなくても、皆さんの思い出とともに歌われている、というだけでいい」と語る。

「『作った人が生きているんですか』と言われるくらい僕は知られていなくても、皆さんの思い出とともに歌われている、というだけでいい」と語る。



# 親子で歌い継ぐ日本の歌百選

2006年(平成18年)

曲名(アイウエオ順)	作詞	作曲	曲名(アイウエオ順)	作詞	作曲
1 仰げば尊し	不詳	不詳	51 スキー	時雨音羽	平井康三郎
2 赤い靴	野口雨情	本居長世	52 背くらべ	海野厚	中山晋平
3 赤とんぼ	三木露風	山田耕柞	53 世界に一つだけの花	槇原敬之	槇原敬之
4 朝はどこから	森まさる	橋本国彦	54 ぞうさん	まどみちお	團伊玖磨
5 あの町この町	野口雨情	中山晋平	55 早春賦	吉丸一昌	中田章
6 あめふり	北原白秋	中山晋平	56 たきび	巽聖歌	渡辺茂
7 雨降りお月さん	野口雨情	中山晋平	57 小さい秋見つけた	サトウハチロー	中田喜直
8 あめふりくまのこ	鶴見正夫	湯山昭	58 茶摘み	不詳	不詳
9 いい日旅立ち	谷村新司	谷村新司	59 チューリップ	近藤宮子	井上武士
10 いつでも夢を	佐伯孝夫	吉田正	60 月の砂漠	加藤まさを	佐々木すぐる
11 犬のおまわりさん	佐藤義美	大中恩	61 翼をください	山上路夫	村井邦彦
12 上を向いて歩こう	永六輔	中村八大	62 手のひらを太陽に	やなせたかし	いずみたく
13 海	林柳波	井上武士	63 通りゃんせ	わらべうた	わらべうた
14 うれしいひなまつり	サトウハチロー	河村光陽	64 どこかで春が	百田宗治	草川信
15 江戸子守歌	日本古謡	日本古謡	65 ドレミの歌	ペギー葉山 訳詞	RODGERS RICHARD
16 おうま	林柳波	松島彝	66 どんぐりころころ	青木存義	築田貞
17 大きな栗の木の下で	不詳	イギリス民謡	67 とんぼのめがね	額賀誠志	平井康三郎
18 大きな古時計	保富訳詞	WORK HENRY CLAY	68 ないしょ話	結城よしを	山口保治
19 おかあさん	田中ナナ	中田喜直	69 涙そうそう	森山良子	BEGIN
20 お正月	東くめ	滝廉太郎	70 夏の思い出	江間章子	中田喜直
21 おはなしゆびさん	香山美子	湯山昭	71 夏は来ぬ	佐々木信綱	小山作之助
22 朧月夜	高野辰之	岡野貞一	72 七つの子	野口雨情	本居長世
23 思い出のアルバム	増子とし	本多鉄磨	73 花	喜納昌吉	喜納昌吉
24 おもちゃのチャチャチャ	野坂昭如・吉岡治雄 作詞	越部信義	74 花	武島羽衣	滝廉太郎
25 かあさんの歌	窪田聡	窪田聡	75 花の街	江間章子	團伊玖磨
26 風	西條八十 訳詞	草川信	76 埴生の宿	里見義訳詞	BISHOP HENRY ROWLEY
27 肩たたき	西條八十	中山晋平	77 浜千鳥	鹿島鳴秋	弘田龍太郎
28 かもめの水兵さん	武内俊子	河村光陽	78 浜辺の歌	林古溪	成田為三
29 からたちの花	北原白秋	山田耕柞	79 春が来た	高野辰之	岡野貞一
30 川の流れるように	秋元康	見岳章	80 春の小川	高野辰之	岡野貞一
31 汽車	不詳	大和田愛羅	81 ふじの山	巖谷小波	不詳
32 汽車ポッポ	富原薫	草川信	82 冬景色	不詳	不詳
33 今日の日はさようなら	金子詔一	金子詔一	83 冬の星座	堀内敬三 訳詞	HAYS WILLIAM SHAKESPEARE
34 靴がなる	清水かつら	弘田龍太郎	84 故郷	高野辰之	岡野貞一
35 こいのぼり	近藤宮子	不詳	85 蛍の光	稲垣千穎	スコットランド民謡
36 高校三年生	丘灯至夫	遠藤実	86 牧場の朝	不詳	船橋榮吉
37 荒城の月	土井晩翠	滝廉太郎	87 見上げてごらん夜の星を	永六輔	いずみたく
38 秋桜	さだまさし	さだまさし	88 みかんの花咲く丘	加藤省吾	海沼実
39 この道	北原白秋	山田耕柞	89 虫のこえ	不詳	不詳
40 こんにちは赤ちゃん	永六輔	中村八大	90 むすんでひらいて	不詳	ROSSEU JEAN JAQUES
41 さくら貝の歌	土屋花情	八洲秀章	91 村祭	不詳	不詳
42 さくらさくら	日本古謡	日本古謡	92 めだかの学校	茶木滋	中田喜直
43 サッチャン	阪田寛夫	大中恩	93 もみじ	高野辰之	岡野貞一
44 里の秋	斎藤信夫	海沼実	94 椰子の実	島崎藤村	大中寅二
45 幸せなら手をたたこう	木村利人 訳詞	アメリカ民謡	95 夕日	葛原しげる	室崎琴月
46 叱られて	清水かつら	弘田龍太郎	96 夕やけこやけ	中村雨紅	草川信
47 四季の歌	荒木とよひさ	荒木とよひさ	97 雪	不詳	不詳
48 時代	中島みゆき	中島みゆき	98 揺りかごの歌	北原白秋	草川信
49 しゃぼん玉	野口雨情	中山晋平	99 旅愁	犬童球溪 訳詞	ORDWAY JP
50 ずいずいずっころばし	わらべうた	わらべうた	100 リンゴの歌	サトウハチロー	万城目正
			101 われは海の子	宮原晃一郎	不詳

# 親子で歌い継ぐ日本の歌百選

親子で歌い継ぐ日本の歌百選は2006年文化庁と日本PTA全国協議会が、親子で長く歌い継いでほしい曲を童謡・唱歌・歌謡曲などから選出したものです。一般から募った895曲から選考委員会が選出しました。百選とありますが選考の結果絞り切れなかったため101曲が選定されています。

調布にゆかりのある「思い出のアルバム」「今日の日はさようなら」がこの百選に選出されています。

## 親子で歌い継ぐ日本の歌百選を歌う会

「親子で歌い継ぐ日本の歌百選を歌う会」は、市内で音楽活動をしているグループなどが出演し、会場の皆さんと一体になって日本の歌百選を歌う会です。

2014年7月27日に発足した「今日の日はさようなら歌碑建立委員会」が、2015年8月2日に調布市つつじヶ丘児童館ホールで初開催しました。

2016年2月に第2回、2016年9月に第3回、2017年2月に第4回と回を重ねています。そして2017年7月に発足した「親子で歌い継ぐ日本の歌百選を歌い伝え継ぐ会」が百選を歌う会の主催を継承し、2017年11月の第5回から年に2回のペースで開催を継続し、2019年11月に第9回の百選を歌う会を実施しています。第10回は2020年6月20日に開催予定です。

第4回までは「親子で歌い継ぐ日本の歌百選コンサート」の名称でしたが、第5回以降は「親子で歌い継ぐ日本の歌百選を歌う会」と名称を変更し、会場の皆さんと一緒に歌うことをより明瞭に表します。百選のリストの番号下一桁が、歌う会の開催回数と同じ曲を、みんなで歌うテーマ曲としています。

第10回は下一桁が0の曲を皆で歌う予定です。11回以降はみんなで選ぶ百選を歌う計画もあります。建立したモニュメントをシンボルとして歌い継ぐ活動を継続していきます。



2015年8月2日  
第1回親子で歌い継ぐ  
日本の歌百選コンサート



2016年2月28日  
第2回親子で歌い継ぐ  
日本の歌百選コンサート

# 親子で歌い継ぐ日本の歌百選を歌う会



2016年9月11日  
第3回親子で歌い継ぐ日本の歌百選コンサート 大野さん歌誕生を語る



2018年6月9日  
第6回親子で歌い継ぐ日本の歌百選を歌う会



2019年11月23日  
第9回親子で歌い継ぐ日本の歌百選を歌う会

調布市のホームページで第9回百選を歌う会が紹介されています。  
<https://www.city.chofu.tokyo.jp/www/contents/1558660338220/index.html>

# 活動記録

- 2014年 7月27日 歌碑建立委員会発会式、ゆかりの地を歩く会 於：金子集会所、常楽院、つつじが丘児童館  
2014年 9月 7日 大野重男さんとハーモニィの皆さんを囲む会 於：調布たづくり 1103会議室  
2014年10月 4日 金子詔一さんと面会 於：F. I. A. 中野オフィス  
2014年10月11日 ゆかりの地を歩く会 於：常楽院、元大野重男さん宅周辺、つつじヶ丘児童館  
2014年12月18日 朝日新聞にて当委員会の活動が紹介される  
2015年 1月23日 第10回委員会 於：調布市柴崎ボンまいあ 歌碑デザインコンペ  
2015年 4月 5日 ポニースクールかつしか軽乗発表会見学  
2015年 8月 2日 第1回親子で歌い継ぐ日本の歌百選コンサート 於：調布市つつじヶ丘児童館ホール  
2015年 8月15日 第20回委員会 於：調布たづくり みんなの広場 コンサート振り返り、今後のイベント  
2015年 9月 7日 読売新聞にて当委員会の活動が紹介される  
2015年10月 4日 霞ヶ浦総合公園の赤とんぼのモニュメント見学  
2015年10月 4日 ハーモニィセンター小貝川ポニー牧場見学 大野重男さんと会談  
2016年 2月28日 第2回親子で歌い継ぐ日本の歌百選コンサート 於：調布市つつじヶ丘児童館ホール  
2016年 3月13日 第30回委員会 於：調布たづくりみんなの広場 第2回百選コンサート反省と今後  
2016年 9月11日 第3回親子で歌い継ぐ日本の歌百選コンサート 大野重男さん来場 歌誕生を語る  
於：調布市つつじヶ丘児童館ホール  
2016年12月26日 第40回委員会 於：調布市柴崎ボンまいあ 第4回百選コンサート準備  
2017年 2月18日 第4回親子で歌い継ぐ日本の歌百選コンサート 於：調布市つつじヶ丘児童館ホール  
2017年 7月17日 親子で歌い継ぐ日本の歌百選を歌い伝え継ぐ会発足式 於：調布たづくり 301,2会議室  
2017年 9月28日 第50回委員会 於：調布市柴崎ボンまいあ モニュメント進捗  
2017年11月23日 第5回親子で歌い継ぐ日本の歌百選を歌う会 於：調布市つつじヶ丘児童館ホール  
2018年 6月 9日 第6回親子で歌い継ぐ日本の歌百選を歌う会 於：調布市つつじヶ丘児童館ホール  
2018年 6月22日 第60回委員会 於：調布市柴崎ボンまいあ モニュメント進捗  
2018年 8月25日 京王線柴崎駅 今日の日はさようなら 列車接近メロディ開始  
2018年11月 8日 モニュメント樹木埋設 於：調布市つつじヶ丘児童館  
2018年11月17日 モニュメント設置記念式典 於：調布市つつじヶ丘児童館  
第7回親子で歌い継ぐ日本の歌百選を歌う会 於：調布市つつじヶ丘児童館ホール  
2018年12月22日 読売新聞にてモニュメント設置が紹介される  
2019年 1月21日 大野重男さんモニュメントを視察 於：調布市つつじヶ丘児童館  
2019年 2月21日～3月16日 モニュメント完成記念活動報告パネル展示 於：調布市西部公民館  
2019年 3月16日 安達元彦さんコンサートにて今日の日はさようならを歌う 於：調布市西部公民館  
2019年 3月16日 第70回委員会 於：調布市西部公民館 活動振り返り 歌碑建立委員会解散  
2019年 6月 8日 第8回親子で歌い継ぐ日本の歌百選を歌う会 於：つつじヶ丘児童館ホール  
2019年11月19日～24日 モニュメント完成記念活動報告パネル展示 於：調布市たづくり  
2019年11月23日 第9回親子で歌い継ぐ日本の歌百選を歌う会 於：つつじヶ丘児童館ホール  
2020年 1月25日 歌い伝え継ぐ会第30回委員会 於：調布市柴崎ボンまいあ 第10回百選を歌う会準備  
2020年 2月 8日 BS朝日 子供たちに残したい美しい日本の歌 にて 今日の日はさようならと  
モニュメントが紹介される  
2020年 6月20日 開催予定 第10回親子で歌い継ぐ日本の歌百選を歌う会 於：つつじヶ丘児童館ホール  
2020年 6月20日～28日 開催予定 活動報告パネル展示 於：調布市たづくり

## お問い合わせ

今日の日はさようなら歌碑建立委員会  
親子で歌い継ぐ日本の歌百選を歌い伝え継ぐ会

会長 門傳 良男 (もんでん よしお)

東京都調布市多摩川7-34-9

電話：042-486-4472

ホームページ：<http://kyounohiwa-chofu.com/>



このQRコードで会のホームページが開けます 12

